



◆ 【TG-DTAによる粉末活性炭の発火点の測定】

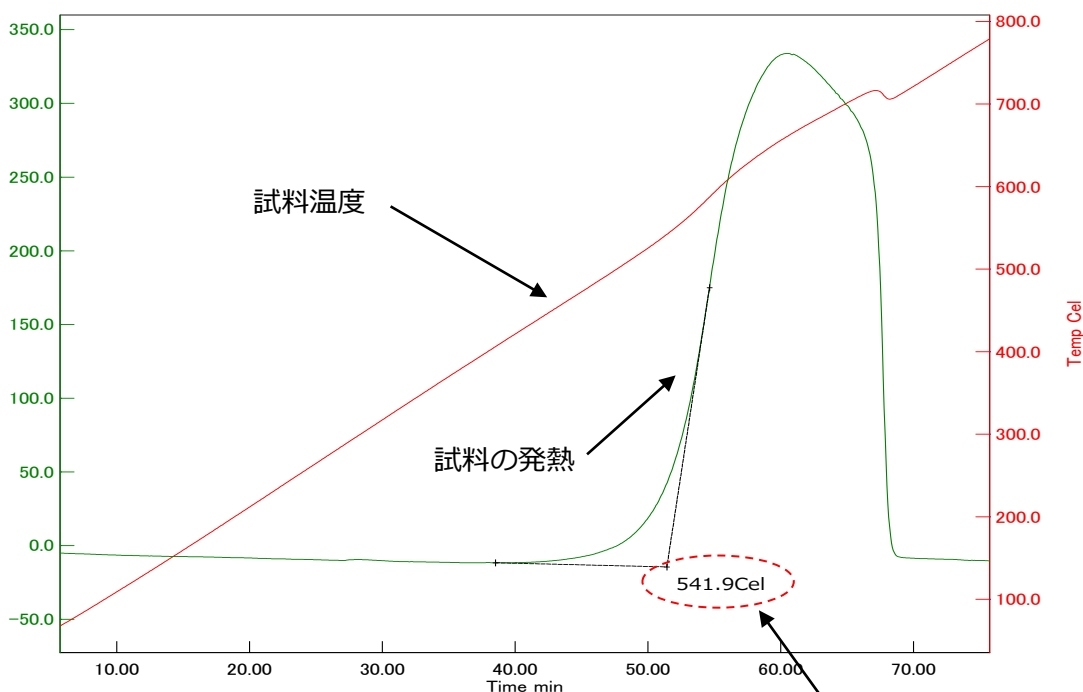
【概要】

活性炭の発火点測定方法（JIS K 1474）では、試験器底部の「すのこ」より試料微粉が落下してしまうため、「粉末活性炭(粒径150 μ m未満)」の測定は困難でした。当社ではTG-DTA装置（熱重量・示差熱同時分析装置）のDTA（示差熱分析）を用いることにより、粉末活性炭の発火点の測定を可能にしています。

【測定原理】

DTAは、加熱炉内の温度を変化させながら、炉内に置かれた試料と、試料と基準物質（測定温度の範囲内で状態変化がない物質）の温度差を計測し、試料に生じた熱変化（吸熱・発熱）を捉えます。

【測定事例】 ヤシ殻系粉末活性炭の発火点測定例



空気雰囲気中 毎分10℃で昇温

⇒ 急激な発熱開始点から、発火点は **542℃** となります。

株式会社MCエバテック

分析事業部 営業部 ☎ : 06-6416-5200 FAX: 06-6416-5311

お問い合わせ ✉ <https://www.mcet.co.jp/contact/analysis/>